

令和 7 年度第 1 回 足立区経済活性化会議

令和 7 年 5 月 2 9 日（木）
足立区役所本庁舎 8 階特別会議室

次 第

1 会長あいさつ

2 審議・意見交換

案件

地域経済活性化基本計画改定に向けた
アンケートについて

計画改定スケジュール（予定）

令和6年度 【準備】計画の進捗（事業の実施状況等）を評価し、短中長期の課題を検討、実態調査の準備を行う

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
産経部内						アンケートたたき台の作成					アンケート内容修正 アンケート調査分析委託準備	
活性化会議					8月5日					1月30日		
				産業課題の意見交換						アンケート内容の検討		

令和7年度 【調査・骨子】区内事業者の状況や区民の消費・就労動向を把握するため、実態調査（アンケート）を実施し計画の骨子を策定する

令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
産経部内	アンケート案作成		アンケート修正					計画骨子案の作成			骨子の作成/施策・指標の検討 計画案検討	
活性化会議		5～6月					10月後半～ 11月前半		部会	1月下旬		
		アンケート案審議					速報の報告・分析		骨子の検討	計画骨子の審議		
アンケート調査 委託先	アンケート案作成		アンケート修正	アンケート実施		速報	実態調査報告書の作成					

令和8年度 【計画本文策定】骨子に基づき各施策や指標を定め、計画を策定する

令和8年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
産経部内	施策・指標の検討・計画案作成						パブコメ 検討			原稿調整	印刷・納品	
活性化会議		部会		7月～8月頃に 1～2回				11月	12月			
		計画案の検討		計画案の審議			パブコメ対応検討	計画の答申				
パブリックコメント						広報	実施					

アンケートの種類・規模

調査

1 産業実態調査

事業者向け

- (1) 対象
中規模(5～99人)1,500件
小規模(4人以下)1,500件
業種は区内の構成比に合わせて抽出
- (2) 問数
70問程度
- (3) 想定回収率
35%(1,050件)程度
- (4) 配布回答方法
郵送配布
郵送またはネット回答

調査

2 消費・就労意識調査

区民向け

- (1) 対象
18歳以上の区民2,000件
区内の年齢構成比に合わせて抽出
- (2) 問数
30問程度
- (3) 想定回収率
45%(900件)程度
- (4) 配布回答方法
郵送配布
郵送またはネット回答

調査

3 創業意識調査

区民・周辺住民向け

- (1) 対象
20歳以上の区民及び
近隣自治体住民
起業経験や興味がある
1,000件
- (2) 問数
20問程度
- (3) 想定回収
1,000件程度
- (4) 調査方法
WEBモニター調査

アンケート実施スケジュール（予定）

時期		内容
令和7年	1月30日	【経済活性化会議】 アンケート内容のたたき台を審議
	4月下旬	アンケート調査委託事業者からアンケート案修正意見聴取
	5月29日	【経済活性化会議】 修正したアンケート内容を審議
	～6月中旬	最終修正・調査票レイアウト
	6月中旬	活性化会議委員への最終確認（メール等）
	6月下旬	アンケート確定
	7月15日頃	アンケート発送
	8月中旬	お礼状送付
	8月22日頃	アンケート締切（※8月末頃まで届いたものは集計）
	10～11月	経済活性化会議で速報データの共有・意見交換
令和8年	1～2月	地域経済活性化基本計画「骨子」策定 アンケート報告書の完成

1 【事業者向け】産業実態等アンケート

No.	問		委員等	アンケートへの意見	対応
1	全体		文教大学経営学部教授 鈴木 誠 (追加意見)	設問数が多く、もう少しコンパクトになると回答しやすくなるのではないかな。	全体的に設問数及び選択肢数を減らす等、回答しやすくしました。
2	全体		東洋大学経営学部准教授 池村 恵一 (追加意見)	選択肢が多いと細かく情報を取得できるが、回答率が下がったり回答が中途半端になる。全問でなくても、選択肢は5つ程度で反射的に回答できるくらいに絞ってもよいのではないかな。	全体的に選択肢数は絞り、多くても10肢程度としました。
3	全体		東洋大学経営学部准教授 池村 恵一 (追加意見)	具体的な数値を求めると回収率に影響が出るのではないかな。基準を示して、それよりも「非常に少ない」「少ない」「変わらない」「多い」「非常に多い」など考えやすい選択肢にするとよいのではないかな。ただし、これまでの実績で高い回収率が達成できる見込みがあれば、以前と同様の質問をしたいことも理解できるので、このままでもよい。	数値を求める設問は、ご指摘のとおり回答が難しくなる可能性があるため、修正しました。
4	全体		足立区議会議員 鹿浜 昭	前回調査の、70歳以上の経営者が約3割、中長期的な経営方針について5割以上の方が現状維持、5割弱の事業者がインターネットを活用できていないなどの結果から、今回のアンケート内容が実際に事業者が困っている実態と合っていないように感じる。区がどこに力を入れて支援しているかわかるような内容にしてはどうか。	例えば、現状維持と考えている理由や、デジタル活用の妨げとなっている理由を聞くことによって、区としての支援策を検討したいと考えているため、今回のアンケート内容としました。 地域経済活性化基本計画のような中期計画とは別に、その時々々の経済環境によって支援の必要がある場合には、速やかに実施していきます。
5	問1	(3) (6)	足立区議会議員 小泉 ひろし	「製造業」「経営者」という言葉など、零細企業の方でも回答しやすく選択肢に説明を加えるなどしてはどうか。	問1(3)の業種の選択肢は、総務省統計（経済センサス）における産業分類の大分類で表記していますが、その中に含まれる中分類や小分類を追記し、選択しやすいように修正しました。 問1(6)の「経営者」は「経営者（代表者）」へ修正しました。
6	問1	(3)	株式会社しまや出版 小早川 真樹	業種の種別には「その他」があった方がよいのではないかな。	問1(3)の業種の選択肢は、総務省統計（経済センサス）における産業分類の大分類で表記していますが、その中に含まれる中分類や小分類を追記し、選択しやすいように修正しました。また、他に分類されないサービス業を選択肢として設定しました。

1 【事業者向け】産業実態等アンケート

No.	問		委員等	アンケートへの意見	対応
7	問 1	(3)	文教大学経営学部教授 鈴木 誠 (追加意見)	業種について、「その他」を加えてはどうか。	問 1 (3) の業種の選択肢は、総務省統計（経済センサス）における産業分類の大分類で表記していますが、その中に含まれる中分類や小分類を追記し、選択しやすいように修正しました。また、他に分類されないサービス業を選択肢として設定しました。
8	問 1	(5)	文教大学経営学部教授 鈴木 誠 (追加意見)	人数の内訳について、「役員」を「経営者」、「パート」を「非正規雇用」としてはどうか。	「役員」は、経営者以外も含めた役員の数で、複数人いる場合もありますのでそのままとします。 「パート」については、「パート等の非正規雇用」に修正しました。
9	問 2	(1)	文教大学経営学部教授 鈴木 誠 (追加意見)	売上規模の設問について、企業規模は通常資本金と従業員数で中規模、小規模、零細企業の区分を行います。売上規模による区分とする理由は特別になにかあるのか。	個人事業主なども含まれるため、前回同様、資本金ではなく売上規模をクロス集計で活用する予定です。
10	問 2	(2)	調査分析委託事業者	大手企業等の下請け・孫請けに限る設問となっているが、大手企業等に限る必要はないのではないか。	問題文を修正し、大手企業等に限らない形の設問としました。
11	問 2	(3)	株式会社しまや出版 小早川 真樹	売上に関しては、コロナ禍との数字の比較、そこから回復できているのか、そのままなのか、を調べた方がよいのではないか。	回答者の負担感を軽減するために、全体的に設問数を削減するため、売上については前年との比較のみとしました。
12	問 2	(3) (6)	文教大学経営学部教授 鈴木 誠 (追加意見)	選択肢を統合し、例えば、増加、横ばい、減少、分らない、比較できないなどとしてはどうか。	選択肢を減らし、7つに整理しました。
13	問 3	(1)	文教大学経営学部教授 鈴木 誠 (追加意見)	3 の業態転換と 4 の事業再構築は回答者は迷うのではないか。	「業態転換」と「事業再構築」の選択肢に、それぞれの内容を補記しました。
14	問 3	(2)	文教大学経営学部教授 鈴木 誠 (追加意見)	回答が細かい。市場の拡大の見通しと回答者の企業の対応見込みという形で整理してはどうか。例：「市場は拡大が見込まれるが資金や人手不足等により対応できない」、「市場の拡大が見込まれず、当面現状を維持する」など。	この設問は、現状維持志向からの脱却を目的として、主に企業の対応の側面から原因を把握する主旨です。ご指摘も踏まえて、「市場拡大が見込めない」を追加し、選択肢を整理しました。
15	問 3	(2)	事務局による修正		肢 6 は、物価高について選択する方がある程度想定されるため、他の要因と分けて単独で設定しました。

1 【事業者向け】産業実態等アンケート

No.	問		委員等	アンケートへの意見	対応
16	問 3	(3)	文教大学経営学部教授 鈴木 誠 (追加意見)	各回答に紐づけされる具体的な支援策がわかると回答しやすい。7の経営者の意欲向上支援とはどういったことかわかりにくい。	選択肢の整理も含め、7の「経営者の意欲向上支援」など内容がわかりにくい選択肢は削除しました。その他の選択肢は、選択肢から支援内容が想定できるため、支援内容は記載しませんが、支援事業が掲載された区のホームページへのリンクを入れました。
17	問 3	(3)	東洋大学経営学部准教授 池村 恵一	意欲的な事業者の取り組みは積極支援などの現計画の柱とは、違う視点でアンケートが設計されているが、改定によって柱が変わることの説明は必要になる。価値を生み出してそれを収益に繋げていくということが企業のベースになるので、その点を聞く項目も必要ではないか。	ご指摘のとおり、企業が収益をあげて成長していくことは重要なため、今後も計画の柱の一つとなると考えます。 アンケートの中では、問2の売上の増減やその理由の設問等において、状況を把握したいと考えます。 また、問3(3)の事業の成長に必要な支援の中で、「突き抜け」に関する内容として、リーディングカンパニーや異業種との交流の必要性を問う選択肢を追加しました。
18	問 3	(3)	調査分析委託事業者	既存の設備の修理、更新に使える補助金が求められている。選択肢に加えるのはいかがか。	選択肢3を「設備投資（購入・更新・修理）のための～」に修正しました。
19	問 4	(2)	調査分析委託事業者	IT関連などの不足が見込まれる選択肢がわかりやすい方がよいのではないか。また選択肢が、職種と業種が混在しているように見えるのではないか。	職種について、国の分類等を参考に、選択しやすいように修正しました。
20	問 4	(3)	調査分析委託事業者	実態は、短時間勤務者の増加よりも育児休業取得者・介護休業取得者の増加によるのではないか。	肢3は育児休業取得者・介護休業取得者の増加に修正し、選択肢全体を整理しました。
21	問 4	(4)	東武鉄道株式会社 大根田委員	離職の理由や入社後どのくらいの時期で辞めるのか把握したい。	問4(3)の離職に関して、「離職が顕著な層」を問う設問を(4)として追加しました。
22	問 4	(4)	文教大学経営学部教授 鈴木 誠 (追加意見)	社員の過不足同様に離職する年齢層を質問してはどうか。新入社員から若年層、中堅層、熟練層、定年後、中途採用というざっくりした階層区分で、どの階層が離職しているかで、マッチングなどに役立つ情報が得られるのではないか。	問4(3)の離職に関して、「離職が顕著な層」を問う設問を(4)として追加しました。
23	問 4	(5)	株式会社あきば商会 遠藤 美代子	カスタマーハラスメントを取り上げるのであれば、現実問題としてあるパワハラも取り上げてもいいのではないか。	離職理由として肢9「職場の人間関係に問題があったため」で選択肢として設けており、離職への影響の大きさを把握します。「パワハラがあったため」などとすると企業側から回答が控えられる可能性がありますので、直接的な表現は避けています。

1 【事業者向け】産業実態等アンケート

No.	問		委員等	アンケートへの意見	対応
24	問 4	(5)	事務局による修正		離職増加理由を正確に把握するのは困難なため、問題文に「貴社が考える」を加筆しました。
25	問 4	(6)	調査分析委託事業者	人手不足の影響として、業務効率化等のプラスの影響もあるのではないかな。	肢 9 に、プラスの影響の選択肢を加えて具体的な内容を記載してもらうように修正しました。
26	問 4	(7)	事務局による修正		人手不足にならなかった理由として選択されることが考えられる、外国人採用（肢 2）及び外注（肢 6）について、選択肢を追加しました。
27	問 4		区民 齋藤 遥希	人手不足の対応では、例えば採用、育成、定着、後継者問題などがある中で、特に課題に感じているのはどこか、を聞く質問を入れるとよいのではないかな。	問 4（3）において、人手不足の理由を聞いており、課題と感じている部分の傾向が把握できると考えます。
28	問 5	(1)	事務局による修正		次の設問以降で正社員と非正社員について分けて質問をするため、（1）でもレイアウトを見直しました。
29	問 5	(2)	区民 齋藤 遥希	採用に関しては、新卒のことか中途採用のことか、どういうスキルを持っている人かなど、具体的にどういう人材のことなのかがわからないので、自由記述によりどういう人材を採用したいのか聞くとよいのではないかな。	問 5（2）に、主に力を入れているのが新卒採用か中途採用かを聞く設問を入れました。
30	問 5	(3) (4)	事務局による修正		正社員の採用方法で、「効果があったもの」「効果がなかったもの」の設問から、正社員及び非正社員で効果があったものを聞く設問へと変更しました。
31	問 5	(3) (4)	足立荒川職業協会会長 鈴木 又右衛門	新卒でも中途採用でも、人材紹介等の成果報酬型以外の方法では応募すらないというのが現状なので。区内事業者の状況を把握するために、「成果報酬型」ということを選択肢として明確にした方がよい。	人材紹介の選択肢 5 に「成功報酬」であること明確にし、選択肢全体を見直しました。
32	問 5	(5)	区民 齋藤 遥希	施策につなげるために具体的な課題のエピソードを書いってもらうと深く課題の理解に繋がるのではないかな。	問 5（5）で人材採用についての課題の具体的なエピソードを記述してもらう欄を設けました。
33	問 5		足立区工業会連合会会長 瀬田 章弘	学生の就活はデジタル化されており、その仕組みに参画していない会社は学生にリーチできない。	問 5（5）の採用の課題の中で、肢 8 にWEBやデジタルを活用した採用に対応できていないことを、選択肢に含めました。

1 【事業者向け】産業実態等アンケート

No.	問		委員等	アンケートへの意見	対応
34	問 5		東洋大学経営学部准教授 池村 恵一	採用に関して、外国人労働者が増えており、支援が必要な可能性もあるため、質問の項目としてあっていいのではないか。	今回は人材確保における全体的な課題把握を行いたいと考えます。外国人労働者に特化した設問は問題数が増えてしまうため掲載は見送りたいと考えます。
35	問 6	(4)	区民 齋藤 遥希	施策につなげるために具体的な課題のエピソードを書い てもらおうと深く課題の理解に繋がるのではないか。	問 6 (4) で人材育成についての課題の具体的なエピソードを記述してもらう欄を設けました。
36	問 7	(1)	文教大学経営学部教授 鈴木 誠	賃上げの設問で平均賃上率では、伸び率が異なる役職者と新入社員の平均が計算されるため、正確ではない数字が出るのではないか。	具体的な数字は求めず、賃上げの実施の有無のみを問う選択肢としました。
37	問 7	(2)	調査分析委託事業者	賃上げ理由として新規採用に必要なためと考えられるため加えてはどうか。	肢 3 に選択肢を加えました。
38	問 8	(1) (2)	株式会社あきば商会 遠藤 美代子	ハラスメントを取り上げるのであれば、現実問題としてあるパワハラも取り上げてもいいのではないか。	問 8 (1) (2) の選択肢 6 として、「ハラスメントの防止や対策を強化した」を追加することで、取り組み状況と離職防止の効果について確認することとしました。
39	問 8	(2)	調査分析委託事業者	効果の有無は当事者も実感しづらい可能性があるため、「思われるもの」などの聞き方が妥当ではないか。	設問を効果があったと感じるもの、に修正しました。
40	問 9	(3)	調査分析委託事業者	選択肢の違いが分かりづらいように感じる。	承継の準備の進捗段階がわかるように肢 2、3 に説明を追記しました。
41	問 9	(4)	区民 齋藤 遥希	施策につなげるために具体的な課題のエピソードを書い てもらおうと深く課題の理解に繋がるのではないか。	問 9 (4) で事業承継についての課題の具体的なエピソードを記述してもらう欄を設けました。
42	問10	(4)	区民 齋藤 遥希	施策につなげるために具体的な課題のエピソードを書い てもらおうと深く課題の理解に繋がるのではないか。	問10 (4) でデジタル活用についての課題の具体的なエピソードを記述してもらう欄を設けました。
43	問11	(2)	調査分析委託事業者	進捗状況だと、売上金額を聞くのか販売数量を聞くのか わかりにくいのではないか。	売行きを設問として、問題文を修正しました。
44	問11	(2)	事務局による修正		売行きが進んでいる、または進んでいない理由を聞く設問について、具体的に記述する設問へと変更しました。

1 【事業者向け】産業実態等アンケート

No.	問		委員等	アンケートへの意見	対応
45	問12	(4)	調査分析委託事業者	導入時か導入後かで課題は異なるのではないかな。	導入しない理由を(5)で聞いているため、ここでは導入した後の課題を聞く設問とする。
46	旧問13		事務局による修正		問題数を減らす目的で、やや他の設問と重複感がある設備投資の状況を問う設問(旧問13)を削除しました。
47	問13	(1)	調査分析委託事業者	経営者または従業員が経験するケースが想定されるのではないかな。	問題文を修正しました。
48	問13	(3)	調査分析委託事業者	複数回答が適切ではないかな。	いくつでも回答できる問題へ修正しました。
49	問13	(4)	調査分析委託事業者	どのような相談先がないのか、わかりやすくした方がよいのではないかな。	選択肢3に「どんな対策をしたらよいかの」を加筆しました。
50	問14		足立区議会議員 鹿浜 昭	中小企業にもSDGsを理解してもらい、支援内容をアピールできるようなアンケートにしていきたい。	SDGsの理解を促進するように、問14の前段の説明の中で、取り組みを例示し区のSDGsパートナー一覧へのリンクを掲載しました。

2 【区民向け】就労・消費意識アンケート

No.	問		委員等	アンケートへの意見	対応
1	全体		文教大学経営学部教授 鈴木 誠 (追加意見)	設問数が多く、もう少しコンパクトになると回答しやすくなるのではないかな。	全体的に設問数及び選択肢数を減らす等、回答しやすくしました。
2	問 1	(1)	文教大学経営学部教授 鈴木 誠 (追加意見)	性別区分が重要であれば設問として設置する意義はあるが、特段の必要性が無い場合には、なくても良いのではないかな。	性別における傾向を把握するため、設問として残すこととします。
3	問 1	(4)	文教大学経営学部教授 鈴木 誠 (追加意見)	国勢調査の家族構成によれば回答欄の5に相当する部分は「兄弟・姉妹」という形態となる。また、回答における自分の立ち位置がわかりにくい。例えば、「親と子供」と言った場合本人が親の場合と本人が子供の場合が想定され、属性区分が十分にできない。	ご指摘のとおりですが、選択肢3、4がそれぞれ3つに分類され選択肢が増えてしまうため、見やすさを優先して現状のままとしました。
4	問 2	(1)	文教大学経営学部教授 鈴木 誠 (追加意見)	回答欄の2は、会社等の役員の職というのは正規社員と重複する可能性があり（非常勤取締役を除き）、中小企業では正社員が役員（取締役）を兼務する人が多いように思うので、選択肢2の意味はあまりないのではないかな。	ご指摘のとおり役員のみを分けて聞くことに大きな意味がないため、選択肢2を削除しました。
5	問 2	(2)	調査分析委託事業者	選択肢が、職種と業種が混在しているように見えるのではないかな。	職種について、国の分類等を参考に、選択しやすいように修正しました。
6	問 2	(3)	文教大学経営学部教授 鈴木 誠 (追加意見)	「賞与があること」を付け加えてはどうか。	ご指摘のとおり、選択肢2に取り入れました。
7	問 2	(3)	調査分析委託事業者	オフィス環境が良いこと、を加えてはどうか。	ハード面の環境がよいことについて選択肢6に加えました。
8	問 2	(3)	事務局による修正		やりがいや仕事を通じた成長を求める人もいると思われるため、選択肢4に加えました。 また、回答数を3つまでと絞り、より重視することが把握しやすいようにしました。
9	問 2	(5)	足立荒川職業協会会長 鈴木 又右衛門	「就労・消費意識調査」の、区内での就労を検討する理由を聞く設問の選択肢は、より現実的な内容を上にした方がよいのではないかな。	選択肢の順序を入れ替えました。
10	旧問 2		事務局による修正		個人が行う転職のためのリスクリングの実施状況の設問は、設問数を整理する観点で削除しました。事業者向けのアンケートの中で、人材育成の実施状況として確認します。

No.	問		委員等	アンケートへの意見	対応
11	問 2	(6)	文教大学経営学部教授 鈴木 誠 (追加意見)	13の「会社で働いた経験がないからわからない」は、 その他でよいのではないかな。	選択肢を整理することも含め、ご指摘のとおり「その他」に統合し、当該選択肢は削除しました。
12	問 2	(6)	事務局による修正		離職理由として、実際の仕事内容と事前のイメージが異なる、という実態が想定されるため、選択肢8に追加しました。
13	問 2	(6)	調査分析委託事業者	全てを選択するなどが考えられるため、選択数に制限を付けた方がよいのではないかな。	回答数を3つまでと絞り、より理由を把握しやすいようにしました。
14	問 2	(7)	事務局による修正		賃上げの状況について、区民側からも実態を把握したいため、設問として追加しました。
15	問 3	(3)	事務局による修正		インターネットショッピングでどのようなものを購入する傾向にあるのかを把握するため、設問を追加しました。
16	問 3	(4)	調査分析委託事業者	インターネットショッピングを利用する理由としては、ポイントが付くことが大きいのではないかな。	選択肢9に追加しました。
17	問 3	(6)	事務局による修正		インターネットショッピングで、区内事業者のどのような商品やサービスを購入しているか把握するため、設問を追加しました。
18	問 3	(8)	文教大学経営学部教授 鈴木 誠 (追加意見)	スマートフォンを持っていない、スマートフォンは利用しないという回答もあってよいのではないかな。また、保有しない理由も聞くとよい。	ご指摘のとおり理由として考えられますので、PCの保有も含めて考えると、「インターネットを利用しないから」という選択肢6を加えることとしました。
19	旧問 3	(7) (8) (9)	事務局による修正		インターネットショッピングの利用見込とその増減理由を聞く設問は、他の設問と内容の重複感があるため、削除しました。

3 【周辺住民向け】創業・起業意識調査アンケート

	問	委員等	アンケートへの意見	対応
1	全体	文教大学経営学部教授 鈴木 誠 (追加意見)	設問数が多く、もう少しコンパクトになると回答しやすくなるのではないかな。	全体的に、設問数及び選択肢数を減らし回答しやすくしました。
2	Q 3	文教大学経営学部教授 鈴木 誠 (追加意見)	区市名が個別に区分されている理由はあるか？都府県別でも構わないのではないかな。	この選択肢に上がっている、足立区近隣市区の住民でモニター登録をしている方を対象に調査を行うため、必ずいずれかに該当することになりますので、今回は分けて回答してもらうこととしました。
3	Q 4	文教大学経営学部教授 鈴木 誠 (追加意見)	起業したことと事業の継続について併せて質問してはどうか。事業を継続したか否かは大きな違いがある。	この設問は、本調査に回答してもらう人を選ぶための設問で、創業の経験や興味がある人を選定するので、事業の継続についてはこの設問では問わないこととします。また選ばれた方が回答する本調査の中で問8、9において事業継続についての質問を設定しています。
4	Q 5	調査分析委託事業者	設問を、～に少しでも興味がありますか、と聞くと回答者をより確保できるのではないかな。	指摘のとおり修正しました。
5	問10	文教大学経営学部教授 鈴木 誠 (追加意見)	オンラインによる業務の場合も想定した選択肢もあると良い。	オフィスや仕事場所として、自宅など選択肢に設定し、オンラインやテレワークも想定した設問としています。
6	問17	調査分析委託事業者	起業創業の場所選択においては、家賃の安さは影響するのではないかな。	選択肢4に追記しました。

4 アンケート実施に関して

	問	委員等	アンケートへの意見	対応
1	アンケート実施	株式会社しまや出版 小早川 真樹	できる限り、オンラインで回答してもらえようようにしていただきたい。	アンケート委託事業者とも相談し、WEB回答に誘導できるように検討する一方で、紙での回答についても対応していきます。
2	アンケート実施	足立区工業会連合会会長 瀬田 章弘	アンケート結果の後にも状況は変わるので、小さな規模のアンケートは定点で実施していかないと現実と乖離してしまうのではないかな。	小規模なアンケートを、必要に応じて実施していくとともに、アンケート終了後も計画策定に向けては、経済環境の動きを踏まえた議論を進めていきます。
3	アンケート実施	TOKYO町工場HUB 古川 拓	前回のアンケートは回答者の年齢に偏りがあったように感じるため、できる限り広く回答いただけるようにした方がよい。	区民向けのアンケートについては、区内住民の年齢構成に合わせて抽出する予定です。事業者向けのアンケートについては、業種を区内の構成比に応じて抽出しますが、経営者の年齢については、無作為となります。出てきた結果が区内経営者の実態を表していると思われます。

【区内事業者向け】産業実態調査アンケート（修正案）

問 1 貴社のことについて

(1) 事業所名、所在地等ご記入ください。

事業所名 (ふりがな)		本調査の担当部署	
住 所	足立区		
電 話		メールアドレス	

(2) 貴社の経営形態として、該当するものに○をしてください（○は1つだけ）。

1 個人	3 株式会社(支店)	5 有限会社(支店)	7 会社以外の法人
2 株式会社(本店)	4 有限会社(本店)	6 相互会社	8 法人でない団体

(3) 貴社の主な業種として、該当するものに○をしてください（○は1つだけ）。

1 農 業	11 学術研究・専門技術サービス業（士業・経営 コンサルタント業、デザイン業、広告業など）
2 建設業	12 宿泊業
3 製造業（金属製品製造業、プラスチック製品 製造業、印刷業など）	13 飲食サービス業
4 電気・ガス・熱供給・水道業	14 生活関連サービス業（理容・美容業、旅行業、 冠婚葬祭業など）
5 情報通信業（情報サービス業、映像情報制作 業など）	15 娯楽業（スポーツ施設提供業、遊戯場など）
6 運輸業	16 教育（学習塾など）
7 卸売業	17 医療・福祉（医療業、介護事業など）
8 小売業	18 その他サービス業（廃棄物処理業、職業紹 介・労働者派遣業、建物サービス業、警備業 など、他に分類されないもの）
9 金融業・保険業	
10 不動産業・物品賃貸業	

(4) 貴社の創業年数をご記入ください（2026年3月現在の数字）。

	年
--	---

(5) 従業員の数（あなた自身も含めて）と雇用形態の内訳をご記入ください（数字を記入ください）。

従業員数	合計	_____人	⇒	内訳	役員	_____人
	そのうち家族は	_____人			正社員	_____人
					パート等の非正規雇用	_____人

(6) 経営者（代表者）の年代として、該当するものに○をつけてください（○は1つだけ）。

1 30歳未満	2 30歳代	3 40歳代	4 50歳代	5 60歳代	6 70歳以上
---------	--------	--------	--------	--------	---------

問 2 貴社の売上・利益の状況について

(1) 2024 年度の売上として、該当するものに○をつけてください (○は1つだけ)。

1	～500 万円未満	6	1 億円以上～3 億円未満
2	500 万～1, 000 万円未満	7	3 億円以上～5 億円未満
3	1, 000 万円～3, 000 万円未満	8	5 億円以上～10 億円未満
4	3, 000 万～5, 000 万円未満	9	10 億円以上
5	5, 000 万～1 億円未満		

(2) 貴社の売上のうち、下請け、孫請け等の案件の売り上げ構成比率は、何%程度ですか（数字をご記入ください。案件がないまたは該当しない場合には「0」を記入）。

_____ %

(3) 2024 年(1~12 月)の年間売上高について、2023 年(1~12 月)と比較した増減として、該当するものに○をつけてください(○は1つだけ)。

1 20%以上増加	3 横ばい (-5~+5%)	4 6~19%減少	6 分からない
2 6~19%増加		5 20%以上減少	7 比較できない

問 2 (4) $\sim$

問 2 (5) $\sim$

(4) 【(3) で「1」「2」と回答した方のみ】売上増加の理由として、あてはまるものの全てに○をつけてください(○はいくつでも)。

1 営業、広告宣伝、PRや販路開拓の取り組みを増加、改善した	6 ECなど新たな自社販売方法を開始した
2 ニーズにあった商品やサービスを開発した	7 原材料価格の高騰を価格転嫁した
3 元請けからの発注が増えた	8 商品の付加価値を向上させた
4 価格競争で優位だった	9 理由はわからない
5 顧客対応を向上させた	10 その他 ()

(5) 【(3) で「4」「5」と回答した方のみ】売上減少の原因として、あてはまるものの全てに○をつけてください(○はいくつでも)。

1 人手が不足したため	6 ECサイトを活用していないため
2 営業、広告宣伝、PRが不足したため	7 キャッシュレス決済に対応していないため
3 ニーズにあった商品やサービスを提供できなかったため	8 原材料高騰や賃上げ分を価格転嫁したことで価格競争に勝てなかったため
4 元請けからの発注が減少したため	9 原因はわからない
5 顧客満足度が下がったため	10 その他（ ）

(6) 2024 年 (1~12 月) の年間営業利益について、2023 年 (1~12 月) 以前と比較した増減として、該当するものに○をつけてください (○は1つだけ)。

1 20%以上増加	3 横ばい (-5~+5%)	4 6~19%減少	6 分からない
2 6~19%増加		5 20%以上減少	7 比較できない

問 2 (7) へ

問 2 (8) へ

(7) 【(6) で「1」「2」に回答した方のみ】利益増加の理由として、該当するものに○をつけてください (○は1つのみ)。

1 売上が増え、コストが減った	→	問 2 (9) へ
2 売上、コストともに増えたが、売上の増加がコストの増加を上回った		
3 売上、コストともに減ったが、コストの減少が売上の減少を上回った		

(8) 【(6) で「4」「5」に回答した方のみ】利益減少の理由として、該当するものに○をつけてください (○は1つのみ)。

1 売上が減り、コストが増えた	→	問 2 (9) へ
2 売上、コストともに増えたが、コストの増加が売上の増加を上回った		
3 売上、コストともに減ったが、売上の減少がコストの減少を上回った		

(9) 【(7) で「2」、または(8) で「1」、「2」に回答した方のみ】コストが増えた理由として、あてはまるもの全てに○をつけてください (○はいくつでも)。

1 資材・原材料があがった	6 宣伝広告費を強化した
2 エネルギーコストがあがった	7 E C などの販売チャネルのコストが増えた
3 人件費があがった	8 賃借料 (店舗、オフィス等の賃借料) があがった
4 設備の更新 (投資)、修繕等を行った	9 運送費 (商品の配送、梱包資材費等) があがった
5 デジタル活用に投資した	10 その他 ()

問3 貴社の中長期的な経営方針について

(1) 貴社の中長期的な経営方針として、最もあてはまるもの1つに○をつけてください(○は1つだけ)。

1 事業の拡大・拡充	4 事業再構築(業種や事業そのものの転換等)
2 事業の縮小	5 現状維持
3 業態転換(営業や販売方法の変更)	6 廃業・自分の代での閉店

問3 (2)へ

(2) 【(1)で「5 現状維持」を選択した方のみ】中長期的な経営方針を現状維持と考えている理由として、あてはまるもの全てに○をつけてください(○はいくつでも)。

1 人手が足りず現状維持が精一杯	7 感染症や災害などに対応してきたことで疲弊した
2 成長を目指す資金がない	8 何に取り組めば良いかわからない
3 業績が悪化してきている	9 成長させる必要を感じない
4 成長を目指すリスクを回避したい	10 その他
5 市場の拡大が見込めない	()
6 物価高で先が見通せない	

(3) 【全ての方】事業の拡大・拡充、成長に向けて必要だと思う行政等の支援として、あてはまるもの全てに○をつけてください(○はいくつでも)。

※回答の際には、区で実施している具体的な支援事業について、下記の2次元バーコードからご参照ください。

① 足立区内の事業者が知っておきたい補助金5選



② 足立区内の中小企業支援



1 人手不足に対応する支援	6 中小企業の事業拡大事例の共有
2 デジタル技術を活用するための支援	7 リーディングカンパニーや異業種との交流
3 設備投資(購入・更新・修理等)のための融資や補助金	8 経営等に関する相談先の確保
4 売上増や販路開拓の支援	9 支援は不要
5 経営(改善)計画の立案の支援	10 その他
	()

問 4 人材の過不足の状況について

(1) 人材の状況について、それぞれ該当する番号に○をつけてください(○は各行1つずつ)。

		不足	やや不足	適当	やや過剰	過剰	該当なし
2024 年 時点の状況	正社員	1	2	3	4	5	6
	非正社員	1	2	3	4	5	6
2025 年 現在	正社員	1	2	3	4	5	6
	非正社員	1	2	3	4	5	6

以下の問4の(2)(3)(6)は、【(1)のいずれかの行で「1 不足」か「2 やや不足」に○をつけた方】がお答えください。
それ以外の方は次ページの問4(7)へ進んでください。

(2) 【(1)のいずれかの行で、「不足」または「やや不足」に回答した方のみ】現在不足している職種として、あてはまるものに○をつけてください(○はいくつでも)。

1 管理職	11 営業職
2 研究職・開発職	12 販売職
3 技術職・生産工程従事職	13 接客・サービス
4 システム・IT 関連職	14 調理職
5 法務・経営・会計等の専門職(弁護士・税理士・社労士等)	15 建築・土木職
6 医療・看護・保健職	16 警備・施設管理職
7 介護・福祉職	17 運転・配送職
8 保育・教育職	18 清掃
9 編集・デザイナー等	19 その他
10 事務職	()

(3) 【(1)のいずれかの行で、「不足」または「やや不足」に回答した方のみ】人手不足が発生した理由として、あてはまるものに○をつけてください(○はいくつでも)。

1 思ったように採用できない	5 業務の効率化が進んでいない
2 人材育成が進んでいない	6 デジタル活用ができていない
3 育児・介護休業取得者の増加	7 理由がわからない
4 離職の発生・増加	8 その他 ()

問4(4)(5)へ

(4) 【(3) で、「4 離職の発生・増加」に回答した方のみ】離職が多い層として最もあてはまるものに○をつけてください (○は一つのみ)。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 新卒入社から半年以内 | 4 ベテラン層 |
| 2 新卒入社半年から3年以内 | 5 幹部職員 (管理職以上) |
| 3 中堅層 | 6 その他 () |

(5) 【(3) で、「4 離職の発生・増加」に回答した方のみ】貴社が考える離職が発生または増加した理由としてあてはまるものに○をつけてください (○はいくつでも)。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 スキルや興味とあっていなかったため | 6 福利厚生に不満があったため |
| 2 社内の育成体制が整っていないため | 7 物理的な労働環境の改善が難しかったため |
| 3 賃金が上げられないため | 8 職場の人間関係に問題があったため |
| 4 休暇等の労働条件の改善が進まないため | 9 理由がわからない |
| 5 残業が減らないため | 10 その他 () |

(6) 【(1) のいずれかの行で、「不足」または「やや不足」に回答した方のみ】人手不足が御社の経営に与えた影響について、あてはまるものに○をつけてください (○はいくつでも)。

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| 1 営業、販路開拓、販売促進などの売上を伸ばす取り組みができない | 6 事業を縮小せざるを得ない |
| 2 新商品やサービスの開発に手が回らない | 7 廃業や倒産の危機にある |
| 3 デジタル活用や業務効率化に取り組めない | 8 ほとんど影響はない |
| 4 人材育成に取り組めない | 9 プラスの影響があった
(内容:) |
| 5 職場環境改善に取り組めない | 10 その他
() |

(7) 【(1) のいずれかの行で、いずれも「不足」か「やや不足」に○がつかなかった方のみ】人手不足が発生しなかった理由として、あてはまるものに○をつけてください (○はいくつでも)。

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| 1 採用が順調 | 6 人材派遣や外注を活用した |
| 2 外国人労働者の雇い入れが進んだ | 7 デジタル活用による業務の効率化が順調 |
| 3 離職が減少した | 8 事業を縮小した |
| 4 育児・介護等による短時間勤務者の減少、
休職者の復帰 | 9 理由がわからない |
| 5 人材育成が順調 | 10 その他 () |

問5 採用の状況について

(1) 採用の状況について、それぞれ該当する番号に○をつけてください(○は各行1つずつ)。

		順調	概ね順調	やや不調	不調	採用予定がないため 当てはまらない
正社員	2024 年の状況	1	2	3	4	5
	2025 年の状況	1	2	3	4	5
非正社員	2024 年の状況	A	B	C	D	E
	2025 年の状況	A	B	C	D	E

問5 (5) へ

(2) 【(1) の正社員の採用いずれかの年で「1」～「4」を選択した方のみ】正社員の採用で主に力を入れているのはどちらですか(○は1つのみ)。

- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 1 新卒採用(大学卒業程度) | 2 新卒採用(高校卒業程度) | 3 中途採用(就労経験あり) | 4 中途採用(就労経験なし) |
|----------------|----------------|----------------|----------------|

(3) 【(1) の正社員の採用いずれかの年で「1」～「4」を選択した方のみ】正社員採用に効果的だった方法として、あてはまるものに○をつけてください(○はいくつでも)。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1 ハローワークなど公共機関の利用 | 5 成功報酬を要する人材紹介の利用 |
| 2 学校・大学への求人票提出・企業説明会参加 | 6 縁故・紹介 |
| 3 自社ホームページへの掲載 | 7 その他() |
| 4 有料求人サイトや求人情報誌への掲載 | 8 効果的なものはなかった |

(4) 【(1) の非正社員の採用いずれかの年で「A」～「D」を選択した方のみ】非正社員採用に効果的だった方法として、あてはまるものに○をつけてください(○はいくつでも)。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1 ハローワークなど公共機関の利用 | 5 成功報酬を要する人材紹介の利用 |
| 2 学校・大学への求人票提出・企業説明会参加 | 6 縁故・紹介 |
| 3 自社ホームページ掲載や自店舗内の掲示 | 7 その他() |
| 4 有料求人サイトや求人情報誌への掲載 | 8 効果的なものはなかった |

(5) 採用を行う上で、課題に感じていることとして、あてはまるものに○をつけてください(○はいくつでも)。

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1 採用業務を担当する人材がいない | 6 業界(業種)そのものが不人気である |
| 2 効果的な採用方法がわからない | 7 求めている人材の応募者が少ない |
| 3 採用広告費や紹介料の負担が大きい | 8 WEBやデジタルを活用した採用に対応できていない |
| 4 労働条件で他社に負けてしまう | 9 その他() |
| 5 自社のPRや情報発信ができていない | 10 特になし |

※(5)について、具体的なエピソードがありましたら記入してください。

問6 貴社の人材育成の状況について

(1) 貴社の人材育成の取り組み状況について、あてはまるものに○をつけてください(○はいくつでも)。

1 生産性向上、ミス防止等のために取り組んでいる	6 デジタル人材育成のために取り組んでいる
2 専門的、技術的な能力を向上させるために取り組んでいる	7 マネジメント力を向上させるために取り組んでいる
3 資格を取得させるために取り組んでいる	8 あまり取り組めていない
4 従業員のモチベーション向上のために取り組んでいる	9 必要性がない
5 キャリアパスを明確にするために取り組んでいる	10 その他 ()

問6 (2) (3) へ

問6 (4) へ

(2) 【(1) で、「1」～「7」に回答した方のみ】人材育成の取り組みの効果として、あてはまるものに○をつけてください(○はいくつでも)。

1 人材の定着	6 顧客満足度の向上
2 生産性向上	7 従業員のモチベーション向上
3 長時間労働の改善	8 デジタル化の促進
4 資格取得・専門スキル向上	9 特に効果はない
5 仕事の受注、事業の拡大	10 その他 ()

(3) 【(1) で、「1」～「7」に回答した方のみ】人材育成の課題として、あてはまるものに○をつけてください(○はいくつでも)。

1 指導を担う人材が不足している	5 育成にかかるコスト負担が大きい
2 十分な時間がさけない	6 効果が見えづらい
3 ノウハウが不足している	7 特にない
4 適切な研修機関が少ない	8 その他 ()

(4) 【(1) で、「8」に回答した方のみ】人材育成に取り組めていない理由として、あてはまるものに○をつけてください(○はいくつでも)。

1 指導を担う人材がいない	5 育成にかかるコストが負担
2 時間がなく優先順位を下げざるを得ない	6 効果が期待できない
3 ノウハウがなくどこから手をつければよいかわからない	7 特にない
4 適切な研修機関が見つけれられない	8 その他 ()

※ (4) について、具体的なエピソードがありましたら記入してください。

問7 貴社の賃上げの状況について

(1) 直近3年間での賃上げ実施状況について、正社員、非正社員のそれぞれで当てはまるものに○をつけてください。

	正社員	非正社員
2023 年度 ↓	1 賃上げを実施した 2 賃上げを実施していない	1 賃上げを実施した 2 賃上げを実施していない
2024 年度 ↓	3 正社員の従業員がいない	3 非正社員の従業員がいない
2024 年度 ↓	1 賃上げを実施した 2 賃上げを実施していない	1 賃上げを実施した 2 賃上げを実施していない
2025 年度	3 正社員の従業員がいない	3 非正社員の従業員がいない

(2) 【(1) のいずれかで賃上げを行っている方のみ】賃上げを行った理由としてあてはまるものに○をつけてください (○はいくつでも)。

<正社員>

- 1 業績が好調だったため
- 2 離職防止に必要だったため
- 3 新規採用に必要だったため

<非正社員>

- 1 業績が好調だったため
- 2 離職防止に必要だったため
- 3 新規採用に必要だったため
- 4 最低賃金が上がったため

(3) 【(1) のいずれかで賃上げを行っている方のみ】その賃上げを行ったことの効果として、あてはまるものに○をつけてください (○はいくつでも)。

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1 従業員のモチベーションが向上した | 5 企業のイメージにプラスに働いた |
| 2 人材の流出・離職を防いだ | 6 商品・サービスの価格上昇に理解が得やすくなった |
| 3 採用に優位に働いた | 7 特に効果はない |
| 4 業績が上がった | 8 その他 () |

(4) 【(1) の回答で、いずれかで賃上げを行わなかった方】賃上げを行わなかった理由として、あてはまるものに○をつけてください (○は1つだけ)。

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------|
| 1 物価高騰分の転嫁をしたため、人件費高騰分を価格転嫁できず原資がないため | 4 家族親族しかいないなど、賃上げをする対象従業員がいないため |
| 2 どのくらい上げればよいかわからないため | 5 事業を縮小したいため |
| 3 十分な賃金を支払っており必要がないため | 6 その他 () |

問 8 貴社の労働環境等の改善の状況について

(1) 直近3年間で行った、労働環境等の改善内容について、あてはまるものに○をつけてください(○はいくつでも)。

1 育児・介護との両立をしやすくした 2 時間外労働を削減した 3 多様な人材を受け入れた 4 健康経営の取り組みを始めた 5 業務システムを導入し効率化を図った 6 ハラスメント対策を強化した 7 テレワークやフレックスを導入した 8 トイレや更衣室、エアコン等の物理的な環境を整備した	9 取り組みたいが出来ていない 10 必要性がない 11 その他 ()
---	---

問 8 (3) へ

問 8 (2) へ

(2) 【(1) で「1」～「8」に回答した方のみ】(1) の取り組みの中で、人材の定着など、人手不足の解消(または悪化の防止)に効果があったと感じるものに○をつけてください(○はいくつでも)。

1 育児・介護との両立をしやすくした 2 時間外労働を削減した 3 多様な人材を受け入れた 4 健康経営に取り組んでいる 5 業務システムを導入した	6 ハラスメント対策を強化した 7 テレワークやフレックスを導入した 8 トイレや更衣室、エアコン等の物理的な環境を整備した 9 その他 ()
--	---

(3) 【(1) で、「9 取り組みたいが出来ていない」を選択した方のみ】取り組んでいない理由として、あてはまるものに○をつけてください(○はいくつでも)。

1 人手が足りない 2 費用の負担が重い 3 効果のある取り組みがわからない	4 ノウハウがない 5 相談先・依頼先がない 6 その他 ()
--	--

問9 後継者・事業の承継について

(1) あなたは、経営者（代表者）として、何歳まで続けるか決めていますか。

1 決めている・概ね決めている

歳くらい

2 考える必要性は感じるが決めていない

3 考えていない

(2) 事業の後継者の決定状況についてあてはまるものに○をつけてください（○は1つだけ）。

1 自身の子どものみに決まっている

2 自身の子ども以外の親族に決まっている

3 会社の従業員に決まっている

4 外部の方に売却することが決まっている

5 誰かには引き継ぎたいが、決まっていない

6 承継するかどうかまだ考えていない

7 自分の代で廃業する予定である

8 その他（ ）

(3) 【(2)で1～4と回答した方のみ】事業承継の準備の進捗状況についてあてはまるものに○をつけてください（○は1つだけ）。

1 既に計画に沿って具体的に進めている

2 事業承継計画は立案できている（具体的に進めるのはこれから）

3 計画立案までは至っていないが、専門機関などに相談を開始している

4 情報収集を始めた段階である

5 何から始めればよいかわからない

6 その他（ ）

(4) 【全ての方】事業承継の不安や課題として、あてはまるものに○をつけてください（○はいくつでも）。

1 事業承継計画が立てられない

2 親族間のトラブル

3 後継者の資質・能力不足、育成

4 後継者が見つからない

5 法務、税務、財務の知識不足

6 取引先や従業員などとの信頼関係

7 経営方針や企業体質が変わってしまうこと

8 税金や資金の負担

9 売上のトラブルに不安がある

10 売上の仲介手数料の負担

11 相談相手や支援者がいない

12 その他（ ）

13 不安や課題はない、当分先のこと

※ (4) について、具体的なエピソードがありましたら記入してください。

問 10 デジタル活用の状況について

(1) 貴社のインターネット活用の内容として、あてはまるもの全てに○をつけてください(○はいくつでも)。

1 自社・自店舗のWEBページを開設している	3 SNS (インスタグラム等) による情報発信を行っている
2 外部との連絡にEメールを利用している	4 1～3のいずれも行っていない

問 10 (2) へ

(2) 【(1) で「4」と回答した方】

いずれも行っていない理由として、あてはまるものに○をつけてください(○はいくつでも)。

1 やり方がわからない	4 行う必要がない
2 継続的に扱える人材がいらない	5 その他
3 導入・運用に係るコストが負担	()

(3) 【全ての方】 貴社のデジタル活用状況について、該当するものに○をつけてください(○は1つだけ)。

1 すでに活用を始めている	2 活用する予定で準備している	3 活用したいができていない	4 活用する予定がない
---------------	-----------------	----------------	-------------

問 10 (4) へ

問 10 (5) へ

(4) 【(3) で「1」と回答した方のみ】 貴社で実践しているデジタル活用の内容として、あてはまるもの全てに○をつけてください(○はいくつでも)。

1 資料のペーパーレス化	6 チャットボット等のカスタマー対応
2 テレワークやオンライン会議の導入	7 生産、物流、店頭等の在庫管理やデータ分析
3 勤怠管理、給与管理、経費システム等の導入	8 売上データの分析・解析結果等の活用による新商品、新サービスの企画
4 顧客管理、収支管理、営業支援システム等の導入	9 その他
5 CADや3Dプリンタの活用による開発・設計・試作	()

※デジタル活用の課題などがあれば、具体的なエピソードをお書きください。

(5) 【(3) で「2」～「4」と回答した方のみ】デジタル活用における貴社の課題や不安として、あてはまるものに○をつけてください (○はいくつでも)。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1 情報セキュリティ対策が不安 | 5 活用を推進できる人材がない |
| 2 導入・運用に係るコスト負担 | 6 導入する必要性がない |
| 3 導入しても効果が出るか不安 | 7 課題は特にない |
| 4 自社に合ったツール・アプリがわからない | 8 その他 |
| | () |

問 11 E Cサイトの活用について

※ E Cサイトとは、商品やサービスを、インターネット上で販売するウェブサイトのことで、オンラインストアやインターネット通販などとも呼ばれる。

(1) 商品を販売、掲載しているE Cサイトとして、あてはまるもの全てに○をつけてください(○はいくつでも)。

1 モール型のE C (Amazon、楽天市場、Yahoo!ショッピング等) 2 自社E Cサイト 3 その他のE C ()	4 利用していない ↓ 問 11 (4) へ
--	---

問 11 (2) (3) へ

(2) 【(1) で「1」～「3」のいずれかに回答した方】 E Cサイトでの販売の売れ行き状況として、該当するものに○をつけてください(○は1つだけ)。

1 順調に進んでいる	2 ある程度進んでいる	3 あまり進んでいない
※売れ行きの理由や課題について、自由にお書きください。		

(3) 【(1) で「4」に回答した方】 現在利用していない理由として、あてはまるものに○をつけてください(○はいくつでも)。

1 人手が足りない	5 業態的になじまない
2 資金が足りない	6 必要性を感じない
3 効果が見込めない	7 その他 ()
4 ノウハウがない・難しく感じる	

問 12 キャッシュレス決済の導入について

(1) 貴社のキャッシュレス決済への対応について、あてはまるもの全てに○をつけてください。

1 クレジットカードに対応 2 デビットカードに対応 3 バーコード決済に対応 4 電子マネー（交通系・流通系）に対応 5 プリペイドカードに対応 6 その他（ ）に対応	7 導入したいがまだしていない 8 導入する予定がない 9 業態として該当しない 10 その他（ ）
--	---

問 12（5）へ

(2) 【(1) で「1」～「6」を選択した方のみ】売上全体に占めるキャッシュレス決済の割合についてお答えください。

約	%
---	---

(3) 【(1)で「1」～「6」を選択した方のみ】キャッシュレス決済を導入している効果について、あてはまるもの全てに○をつけてください。

1 会計等の業務負担が軽減された	5 購買データが活用できるようになった
2 売上が増えた	6 各種キャンペーンに参加できる
3 客数が増えた	7 特に効果は感じない
4 客単価があがった	8 その他（ ）

(4) 【(1)で「1」～「6」を選択した方のみ】キャッシュレス決済を導入した後の課題について、あてはまるもの全てに○をつけてください。

1 仕組みを理解し使いこなすのが大変	4 現金との混在で業務が煩雑になった
2 手数料が利益を圧迫している	5 利用者が思ったほど多くない
3 システム障害やトラブルが多い	6 その他（ ）

(5) 【(1) で「7」「8」を選択した方のみ】キャッシュレス決済を導入していない理由について、あてはまるもの全てに○をつけてください。

1 仕組みを理解するのが負担	5 システムトラブルに対応できない
2 担当する人手不足	6 顧客ニーズや必要性を感じない
3 導入コストが負担	7 その他（ ）
4 手数料が負担	

問 13 カスタマーハラスメント対策について

(1) 直近3年で、カスタマーハラスメントに類する事案について、経営者または従業員が経験した内容として、あてはまるもの全てに○をしてください(○はいくつでも)。

1 長時間にわたり従業員を拘束する、居座りをする、長時間電話を続ける	6 権威を振りかざし要求を通そうとする
2 理不尽な要望を繰り返し求める	7 詳細を言わず店舗外に呼びつける
3 大きな怒鳴り声をあげる、侮辱的発言、人格の否定や名誉を棄損する発言	8 SNSやインターネットで誹謗中傷する
4 殴る、蹴る、物を投げつける等の暴力	9 経験はない
5 威嚇・脅迫	10 業態として該当しない
	11 その他 ()

問 13 (2) へ

(2) 【(1) で「1」～「8」と回答した方のみ】カスタマーハラスメントに類する事案によって受けた影響として、あてはまるもの全てに○をしてください(○はいくつでも)。

1 従業員のパフォーマンスの低下	6 金銭的損失(値下げ、慰謝料、代替品など)
2 従業員の健康不良・休職	7 企業イメージの低下
3 配置転換	8 他の顧客の利用環境悪化・サービス低下
4 従業員の退職	9 特に影響はない
5 対応のために時間の浪費	10 その他 ()

(3) 貴社のカスタマーハラスメントに類する事案への対策状況として、あてはまるもの全てに○をしてください(○はいくつでも)。

1 基本方針を明確にしている	4 対応方法を従業員等へ教育・研修している
2 従業員が相談できる体制を整備している	5 対策したいができていない
3 対応方法、手順を策定している	6 必要性を感じていない

問 13 (4) へ

(4) 【(3) で「5」に回答した方】対策できていない理由として、あてはまるもの全てに○をしてください(○はいくつでも)。

1 人手が足りず優先順位を下げざるを得ない	4 クレームとの違いが区別できない
2 何をすればよいかわからない	5 その他 ()
3 どんな対策をしたらよいかの相談先がない	

問 14 貴社のSDGsの取り組み状況について

- SDGs（持続可能な開発目標）とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。「働きがいも経済成長も」「ジェンダー平等を実現しよう」などの17のゴールと、169のターゲットから構成されています。
- 足立区では、ともにSDGsの取り組みを実践する企業や団体を「あだちSDGsパートナー」として登録し、官民一体となってSDGsを推進しています。
- 右記のWEBページに、廃材の利用やエネルギーの効率化、ペーパーレス推進、多様性の推進など、区内事業者の取り組み事例がございますので、ご参照ください。



あだちSDGs
パートナー
のWEBページ

（1）SDGsの取り組み状況として該当するものに○をつけてください（○は1つだけ）。

1 ☒ すでに取り組んでいる	2 ☐ まだ取り組んでいないが、今後は取り組む予定	4 ☐ 以前取り組んでいたが、今は取り組んでいない
3 ☐ 取り組んでおらず、今後の取り組みは未定	5 ☐ 特に取り組んでおらず、今後もし取り組む予定はない	

問 14（2）へ

（2）【（1）で「1 すでに取り組んでいる」と回答した方】SDGsの取り組みとして行っているものを、下記に記述してください（複数可）。

（3）【（1）で「1 すでに取り組んでいる」と回答した方】SDGsの取り組みの効果として、あてはまるもの全てに○をつけてください（○はいくつでも）。

1 ☐ 職場が活性化された	6 ☐ 新たな販路を得た
2 ☐ 人材確保（採用や離職防止）に繋がった	7 ☐ エネルギーコストが下がった
3 ☐ 業務効率化に繋がった	8 ☐ 資金調達の難易度が下がった
4 ☐ 企業イメージが向上した	9 ☐ 効果は特にない
5 ☐ 廃材等を活用した商品の売れ行きが好調だった	10 ☐ その他（ ）

（4）今後SDGsの取り組みとして実施したいことを、下記に記述してください（複数可）。

【区民向け】就労・消費意識調査アンケート（修正案）

問1 あなたご自身についてお伺いします

(1) あなたの性別は、次のどれに当たりますか（○印は1つ）。

- | | | | |
|------|------|-----------|----------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 どちらでもない | 4 答えたくない |
|------|------|-----------|----------|

(2) あなたの年代は、どれに当たりますか（○印は1つ）。

- | | | | |
|---------|--------|--------|----------|
| 1 20歳未満 | 3 30歳代 | 5 50歳代 | 7 70歳代以上 |
| 2 20歳代 | 4 40歳代 | 6 60歳代 | |

(3) あなたが現在のところにお住まいになってから、何年になりますか（○印は1つ）。

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1 1年未満 | 3 3年以上5年未満 | 5 10年以上20年未満 |
| 2 1年以上3年未満 | 4 5年以上10年未満 | 6 20年以上 |

(4) あなたが現在一緒にお住まいのご家族の構成は、次のどれに当たりますか（○印は1つ）。

- | | | |
|--------------|-----------------|----------|
| 1 一人暮らし | 3 親と子ども（二世家族） | 5 その他（ ） |
| 2 夫婦のみ（一世家族） | 4 親と子どもと孫（三世家族） | |

(5) あなたのご職業について、次のうち最もあてはまるものは何ですか（○印は1つ）。

- | | | |
|------------|-------------|-----------|
| 1 会社員・公務員 | 4 個人事業主 | 7 就労していない |
| 2 会社（法人）経営 | 5 パート・アルバイト | 8 その他 |
| 3 会社役員 | 6 学生 | （ ） |

(6) あなたの主な通勤・通学先は、次のどれに当たりますか（○印は1つ）。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 自宅（自営など） | 5 埼玉県・千葉県 |
| 2 足立区内 | 6 その他（ ） |
| 3 足立区以外の23区 | 7 通勤・通学先はない |
| 4 1～3以外の都内 | |

問2 就労に対する考え方についてお伺いします

(1) 現在の転職や求職活動等（パート・アルバイトを含む）の状況として、該当するものに○をつけてください（○は1つのみ）。現在就労しているか否かは問いません。

1 正規の社員（職員）の職を探している	3 独立・開業をする予定で準備している
2 パート・アルバイト先を探している	4 1～3のいずれでもない（就労中、就労意思はない）

問2（2）～（7）にお答えください

問2（6）～（7）にお答えください

(2) 【(1) で「1」「2」に回答した方のみ】

希望の職種としてあてはまるものすべてに○をつけてください（○はいくつでも）。

1 管理職	11 営業職
2 研究職・開発職	12 販売職
3 技術職・生産工程従事職	13 接客・サービス
4 システム・IT 関連職	14 調理職
5 法務・経営・会計等の専門職（弁護士・ 税理士・社労士等）	15 建築・土木職
6 医療・看護・保健職	16 警備・施設管理職
7 介護・福祉職	17 運転・配送職
8 保育・教育職	18 清掃
9 編集・デザイナー等	19 その他
10 事務職	()

(3) 【(1) で「1」「2」に回答した方のみ】就労先を選択する際に重視することとしてあてはまるものに○をつけてください（○は3つまで）。

1 給与が良いこと (月給・時給 円以上)	6 オフィス環境が良いこと（ハード面）
2 賞与があること (支給月数 か月以上)	7 職場の雰囲気が良いこと
3 安定した雇用であること	8 経験・スキルが活かせること
4 やりがいがあり、仕事を通して成長できること	9 育成・教育体制が整っていること
5 知名度のある、イメージが良い企業であること	10 就労場所が通いやすこと
	11 休み・勤務日数・時間の融通が利くこと
	12 その他
	()

(4) 【(1) で「1」「2」に回答した方のみ】

利用している求職方法として、あてはまるものすべてに○をつけてください (○はいくつでも)。

1	ハローワークなど公共機関を利用	5	人材紹介の利用
2	学校・大学の就職部の求人票や学校・大学主催の企業説明会への参加	6	人材派遣の利用
3	会社ホームページ・店舗等の掲示の閲覧	7	縁故・紹介
4	求人サイトや求人情報誌を利用	8	その他 ()

(5) 【(1) で「1」「2」に回答した方のみ】

転職、就職にあたって足立区内の事業者を就労先として検討するかどうかについて、あてはまるものすべてに○をつけてください (○はいくつでも)。

検討する方は左側にのみ、検討しない方は右側にのみ回答してください。

検討する方		検討しない方	
1	給与等の条件が良いため	1	区内事業者を知らない・求人募集を見つけられない
2	通勤に便利のため	2	区内求人の給与等の条件が良くない
3	好きな商品やサービスを扱っているため	3	都心で働きたい
4	知り合いが経営または就労しているため	4	区外に意中の企業がある
5	ビジョンや事業内容に共感できるため	5	居住地の近くで働きたくない
6	区内産業に貢献したいため	6	通学先などの近くが良い
7	アットホームで働きやすい環境のため	7	狭さや古さなど職場環境が心配
8	その他 ()	8	小さな規模で人間関係が心配

(6) 【全ての方】 離職した理由、または離職するほどの理由になると考えられることとして、あてはまるものすべてに○をつけてください (○は3つまで)。

1	業績が悪化している	6	職場の労働環境が悪い (ハード面)
2	忙しくて残業や休日出勤が多い	7	休み・勤務日数・時間の融通が利かない
3	人間関係やハラスメントなどの問題がある	8	実際の仕事内容が事前のイメージと異なる
4	育成体制がしっかりしていない	9	その他 ()
5	他社と比べて賃上げが実施されない		

(7) 【全ての方】 賃上げの状況について、あてはまるものに○をつけてください (○は1つのみ)。

1	2025 年度に十分な賃上げがあった	4	2025 年度は賃金が下がった
2	2025 年度にやや賃上げがあった	5	賃金を得ていない
3	2025 年度は賃上げがなかった		

問3 インターネットショッピングの考え方についてお伺いします

(1) インターネットを利用して商品・サービス購入を購入する頻度として、最も近いもの1つに○をつけてください (○印は1つ)。

1 1か月に2回以上	3 3か月に1回程度	5 基本的には利用しない
2 1か月に1回程度	4 半年に1回程度	6 一度も利用したことがない

(2) 【(1) で「1」～「4」と回答した方のみ】

主に利用するサイトとして最もあてはまるものに○をつけてください (○印は1つ)。

1 モール型のショッピングサイト (Amazon、楽天市場、Yahoo!ショッピング等)
2 各社の自社ショッピングサイト
3 その他のショッピングサイト ()

(3) 【(1) で「1」～「4」と回答した方のみ】

インターネットショッピングで主に購入するものとして、あてはまるものすべてに○をつけてください (○はいくつでも)。

1 衣類・靴・鞆・ファッション小物	6 お酒
2 スポーツ・アウトドア用品	7 家具・インテリア
3 電化製品 (テレビ・スマホ・PC等)	8 玩具・育児用品
4 書籍・映像・音楽ソフト (電子書籍や音楽配信等含む)	9 医薬品・医薬部外品・化粧品
5 食品・お菓子・飲料	10 その他 ()

(4) 【(1) で「1」～「4」と回答した方のみ】

インターネットショッピングを利用する理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください (○はいくつでも)。

1 ショッピングサイトのレビューを参照して買い物ができる	5 対面での接客が省略できる
2 商品数やサービスの種類が多い、カラーやサイズバリエーションが豊富	6 購入履歴から欲しい物を提示してくれる
3 ネット上にしか見つけられない商品がある・ネットでしか申込、支払いができないサービスがある	7 時間を選ばず買い物ができる
4 実店舗に行く・商品を探す時間を節約できる	8 持ち帰りが大変なものも気軽に買える
	9 ポイントが付く
	10 その他 ()

(5) 【(1) で「1」～「4」と回答した方のみ】

インターネットショッピングで、区内事業者の商品やサービスを購入した経験として、該当するもの1つに○をつけてください (○印は1つ)。

- | | | |
|------|------|---------|
| 1 ある | 2 ない | 3 わからない |
|------|------|---------|

(6) 【(5) で「1 購入したことがある」と回答した方のみ】

どんなものをご購入したかご記入ください (いくつでも可)。

--

(7) 【(5) で「1 購入したことがある」と回答した方のみ】

インターネットショッピングで、区内事業者の商品やサービスを購入した経緯として、あてはまるものすべてに○をつけてください (○はいくつでも)。

- | | |
|--|------------|
| 1 もともと実店舗を利用していた | 4 SNS で知った |
| 2 友人・知人からの口コミで知った | 5 偶然 |
| 3 小売店 (スーパーや百貨店等) で商品を見て、ショッピングサイトを探した | 6 その他 () |

(8) 【(1) で「5」～「6」と回答した方のみ】

インターネットショッピングを利用しない理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください (○はいくつでも)。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 商品を直接確認したい | 7 決済手段のセキュリティが不安 |
| 2 注文方法がわかりにくい | 8 ショッピングサイトへの登録が面倒 |
| 3 商品情報の信頼性が低い | 9 商品が探せない、選べない |
| 4 送料負担がある | 10 店舗に買い物に行くのが楽しみ |
| 5 なじみの店舗の方が買いやすい | 11 その他 () |
| 6 インターネットを利用しないから | |

問4 キャッシュレス決済の利用についてお伺いします

(1) あなたは、クレジットカードやスマートフォンなどのキャッシュレス決済手段を利用したことがありますか（○印は1つ）。

1 あ る	2 な い
--	--

(2) その理由は何ですか
(○印はいくつでも)。

(3) その理由は何ですか
(○印はいくつでも)。

- 1 ポイントが貯まる
- 2 支払いがスムーズ
- 3 財布がかさばらない
- 4 キャッシュレス決済対応の店が増えた
- 5 購入、支払いのデータが残る
- 6 キャッシュレスの方がお金の管理がしやすい
- 7 その他
()

- 1 現金を使い慣れている
- 2 現金の方がお金の管理がしやすい
- 3 現金以外の決済手段だと、お金を使いすぎる不安がある
- 4 セキュリティに不安がある
- 5 普段買い物する場所がキャッシュレスに対応していない
- 6 仕組みや制度がよくわからない・不安
- 7 その他（ ）
- 8 特に理由はない

(4) あなたが利用しているキャッシュレス決済手段は何ですか (○印は3つまで)。

1	クレジットカード	4	電子マネー（交通系・流通系）	6	その他（ ）
2	デビットカード				
3	バーコード決済	5	プリペイドカード	7	利用していない

(5) キャッシュレス決済対応の有無によるお店選びについて、あなたにあてはまるものを選んでください（○印は1つ）。

```

graph TD
    A[支払い方法によって店舗の選択をしない] --> B[どちらかといえば、現金払いのお店を選ぶ]
    A --> C[どちらかといえば、キャッシュレス決済対応のお店を選ぶ]
    A --> D[現金払いのお店を選ぶ]
  
```

(6) その理由は (○印はいくつでも)。

(7) その理由は (○印はいくつでも)。

- 1 ポイントを貯めたい
- 2 支払いがスムーズ
- 3 現金を持ち歩かない
- 4 キャッシュレスが習慣となった
- 5 その他 ()

- 1 現金で支払うのが習慣
- 2 現金で支出を管理したい
- 3 プライバシーを確保したい（購入記録を残したくない）
- 4 特に理由はない
- 5 その他（ ）

【区民・周辺住民向け】創業・起業意識調査アンケート（修正案）**「スクリーニング調査」**

登録モニターの中から起業の経験や興味がある人に絞るための質問

Q 1 あなたの性別はどちらですか（○印は1つ）。

- | | | | |
|------|------|-----------|----------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 どちらでもない | 4 答えたくない |
|------|------|-----------|----------|

Q 2 あなたの年代はどれにあたりますか（○印は1つ）。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1 20 歳代 | 3 40 歳代 | 5 60 歳代 |
| 2 30 歳代 | 4 50 歳代 | |

Q 3 あなたのお住まいの場所はどれにあたりますか（○印は1つ）。

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1 足立区 | 6 埼玉県越谷市 | 10 千葉県柏市 |
| 2 東京都葛飾区 | 7 埼玉県草加市 | 11 千葉県松戸市 |
| 3 東京都荒川区 | 8 埼玉県八潮市 | 12 千葉県流山市 |
| 4 東京都北区 | 9 埼玉県三郷市 | |
| 5 東京都墨田区 | | |

Q 4 あなたは、最近 10 年くらいの間に、起業・創業・独立をした経験をお持ちですか（○印は1つ）。

- | |
|---|
| 1 最近 10 年くらいの間に起業・創業・独立をした |
| 2 最近 10 年くらいの間に起業・創業・独立の検討や準備をしたが、実際にはしなかった |
| 3 最近 10 年くらいの間に、起業・創業・独立を考えたことはない |

Q 5 あなたは、起業・創業・独立に少しでも興味がありますか（○印は1つ）。

※学校卒業後や早期退職・定年退職後の起業・創業・独立も含めてお考えください。
※2回目や2件目も含めてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1 起業・創業・独立の経験がある/準備を進めている最中である |
| 2 10 年以内には起業・創業・独立をしたい |
| 3 起業・創業・独立に興味・関心がある |
| 4 起業・創業・独立したいと思っておらず、興味もない |

対象となった方への本調査

スクリーニング調査において、Q4で①～②、またはQ5で①～④が本調査の対象

初めに、あなたご自身についてお伺いします

問1 あなたの現在のご職業は、次のどれにあたりますか（○印は1つ）。

1 会社員・公務員	4 個人事業主	7 就労していない
2 会社（法人）経営	5 パート・アルバイト	8 その他
3 会社役員	6 学生	()

問2 あなたの主な通勤・通学先はどちらですか（○印は1つ）。

1 自宅（自営など）	5 埼玉県・千葉県
2 足立区内	6 その他（ ）
3 足立区以外の23区	7 通勤・通学先はない
4 1～3以外の都内	

問3 あなたが現在一緒にお住まいのご家族の構成は、次のどれにあたりますか（○印は1つ）。

1 一人暮らし	3 親と子ども（二世家族）	5 その他（ ）
2 夫婦のみ（一世家族）	4 親と子どもと孫（三世家族）	

問4 あなたが現在のところにお住まいになってから、何年になりますか（○印は1つ）。

1 1年未満	3 3年以上5年未満	5 10年以上20年未満
2 1年以上3年未満	4 5年以上10年未満	6 20年以上

創業・起業に関する意識についてお伺いします

問5 あなたは、これまでに、ご自身で実際に起業・創業・独立をしたことがありますか（○印は1つ）。

1 ある	⇒ 問6へ	2 ない	⇒ 問12へ（次ページ）
------	-------	------	--------------

問6 （問5で「1」と回答した方に）

あなたは、何歳の時に起業・創業・独立しましたか（○印は1つ）。

複数回の経験がある方は、直近のものでご回答ください。

1 20歳未満	3 30歳代	5 50歳代
2 20歳代	4 40歳代	6 60歳代

問7 （引き続き、問5で「1」と回答した方に）

あなたが起業・創業・独立したのは、どのような業種ですか（○印は1つ）。

複数回の経験がある方は、直近のものでご回答ください。

1 農業	11 学術研究・専門技術サービス業（土業・経営コンサルタント業、デザイン業、広告業など）
2 建設業（金属製品製造業、プラスチック製品製造業、印刷業など）	12 宿泊業
3 製造業	13 飲食サービス業
4 電気・ガス・熱供給・水道業	14 生活関連サービス業（理容・美容業、旅行業、冠婚葬祭業など）
5 情報通信業（情報サービス業、映像情報制作業）	15 娯楽業（スポーツ施設提供業、遊戯場など）
6 運輸業	16 教育（学習塾など）
7 卸売業	17 医療・福祉（医療業、介護事業など）
8 小売業	18 その他サービス業（廃棄物処理業、職業紹介・労働者派遣業、建物サービス業、警備業など他に分類されないもの）
9 金融業・保険業	
10 不動産業・物品賃貸業	

問8 （引き続き、問5で「1」と回答した方に）

あなたが、起業・創業・独立した後の、現在の状況はいかがですか

（○印は1つ、該当するカッコ内に数字を記入）。

複数回の経験がある方は、直近のものでご回答ください。

1 事業が継続している （創業 _____ 年目）	2 近い将来廃業（事業終了） 予定 （創業 _____ 年目）	3 廃業などにより、現在は 事業を継続していない （創業 _____ 年で終了）
------------------------------	---------------------------------------	--

問9 (問8で「2」～「3」と回答した方に)

廃業（事業終了）をした、またはする理由はどんなことですか（○印はいくつでも）。

1 自身の年齢	5 資材等の高騰
2 体力や体調の問題	6 オフィスや店舗が使用できなくなった
3 資金繰りの問題	7 事業を売却・譲渡した
4 売上の停滞や落ち込み	8 その他
()	

問10 (引き続き、問5で「1」と回答した方に)

あなたが起業・創業・独立した際にオフィスや店舗、仕事場所として主に利用している（利用した）のはどのような場所ですか（○印は1つ）。

1 自宅	5 コワーキングスペース
2 シェアオフィス・レンタルオフィス	6 カフェ・図書館
3 公的な創業支援施設（インキュベーション施設）	7 キッチンカー
4 民間の賃貸物件・賃貸マンション	8 その他 ()

問11 (引き続き、問5で「1」と回答した方に)

起業・創業・独立した事業を成功させるために、準備期や起業直後において重要と思われることはどんなことですか（○印はいくつでも）。

1 事業やサービスについて、独自のアイデアがあること	7 自身に適した起業地域の選定すること
2 しっかりとした事業計画を立てること	8 オフィス・仕事場所の確保すること
3 軌道に乗るまでの運転資金を確保すること	9 従業員の確保すること
4 資金調達先を確保すること	10 行政の支援を把握、活用すること
5 身の丈にあった規模で始めること	11 計画的に売上を増やすこと
6 相談相手や先輩起業家とのネットワークを持つこと	12 その他
()	

⇒問15へ進んでください

※問 12～14 は、問 5 で「2」と回答した方起（業・創業・独立の経験がない方）にのみ、お伺いします。

問 12 （問 5 で「2」と回答した方に）

あなたが起業・創業・独立したい、または興味があるのは、どのような業種ですか（○印は 1 つ）。

1 農 業	11 学術研究・専門技術サービス業（士業・経営コンサルタント業、デザイン業、広告業など）
2 建設業	12 宿泊業
3 製造業（金属製品製造業、プラスチック製品製造業、印刷業など）	13 飲食サービス業
4 電気・ガス・熱供給・水道業	14 生活関連サービス業（理容・美容業、旅行業、冠婚葬祭業など）
5 情報通信業（情報サービス業、映像情報制作業）	15 娯楽業（スポーツ施設提供業、遊戯場など）
6 運輸業	16 教 育（学習塾など）
7 卸売業	17 医療・福祉（医療業、介護事業など）
8 小売業	18 その他サービス業（廃棄物処理業、職業紹介・労働者派遣業、建物サービス業、警備業など他に分類されないもの）
9 金融業・保険業	
10 不動産業・物品賃貸業	

問 13 （引き続き、問 5 で「2」と回答した方に）

あなたが持つ起業・創業の印象として、次の中からあてはまるものを選んでください（○印はいくつでも）。

1 一般サラリーマンよりも高額の所得が得られそう
2 専門性を活かした働き方ができそう
3 育児・介護、収入など働く環境のバランスが取れそう
4 社会課題の解決に貢献できそう
5 収入が不安定になりそう
6 家族や周囲の理解を得ることが難しそう
7 失敗したときにリスクがありそう
8 その他（
9 あてはまるものはひとつもない

問 14 （引き続き、問 5 で「2」と回答した方に）

**起業・創業・独立するにあたって、障壁となっていること、またはなりそうなことは、
どんなことですか（○印はいくつでも）。**

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1 独自のアイデアに不安がある、アイデアがない | 7 起業のノウハウが全体的にない |
| 2 事業計画を立てられない | 8 オフィス・店舗が見つからない |
| 3 創業前に自己資金が確保できない | 9 従業員が確保できない |
| 4 十分な収入を得られるか不安 | 10 失敗するリスクに覚悟ができない |
| 5 資金調達ができない | 11 家族を説得できない |
| 6 相談相手や先輩起業家とのネットワークがない | 12 その他（ ） |

※問 15 からは、全ての方にお伺いします。

問 15 （全ての方）

あなたが、ご自身の起業・創業・独立を考えた、または興味を持ったきっかけは何ですか（○印はいくつでも）。

- | |
|--------------------------|
| 1 著名な起業家や周囲の起業家の発言や行動に刺激 |
| 2 親族で自営業をやっている身近な人から刺激 |
| 3 学校のキャリア教育 |
| 4 現在の勤め先の見通し不安 |
| 5 現在の仕事と自分のやりたいことのギャップ |
| 6 家庭環境の変化や転機（離婚、介護、育児など） |
| 7 退職（定年退職も含む） |
| 8 その他（ ） |

問 16 （全ての方）

あなたが、ご自身の起業、創業、独立先として、実際に選んだ、もしくは、考えている地域はどこですか（○印は1つ）。

複数回の経験がある方は、直近のものでご回答ください。

- | | |
|----------------------|---------------------------------|
| 1 足立区 | 3 東京都近郊の市区（東京寄りの埼玉県、千葉県、神奈川県市区） |
| 2 足立区以外の特別区（都内 22 区） | 4 上記以外の道府県の市区町村 |
| 3 23 区以外の都内（都内の市町村） | |

問 17 （全ての方）

あなたが、起業、創業、独立先として、選んだ、もしくは、考えている地域について、その地域を選んだ理由はなんですか（○印はいくつでも）。

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1 今住んでいる地域や出生地だから | 5 手掛けるビジネスとの親和性が高そうな地域だから |
| 2 その地域にビジネスをしている知人や友人が多いから | 6 起業家が多いから |
| 3 地域としてのブランド力があるから | 7 自治体の支援が手厚いから |
| 4 要件（家賃、広さ、許認可等）を満たす物件が多いから | 8 その他（ ） |

問 18 （全ての方）

足立区の起業・創業を支援する事業のうち、あなたがお存じのものはどれですか（○印はいくつでも）。

1 独立・起業セミナー（入門編・実践編）【セミナー】 未創業者などを対象に、経営者としての基盤確立等を目的としたセミナーを実施	
2 創業支援施設（かがやき・かけはし）【入居施設・相談支援】 東京芸術センターなどで低廉な賃料で事務所を提供し、経営相談などによる支援を実施	
3 起業家交流会【ネットワーク形成】 創業間もない不安定な時期の交流の場として、創業者や先輩起業家との交流会を実施	
4 創業プランコンテスト【表彰・補助】 優秀なビジネスプランを募集、審査の上表彰し、事業の実施状況により補助金を交付	
5 創業者経営力アップ支援事業【相談支援・家賃補助】 創業経営相談員による定期的な支援及び賃料の補助	
6 足立区創業資金（開業）【融資】 創業前から創業後5年未満の方を対象にした融資	
7 ステップアッププログラム【伴走支援】 創業5年未満の方などを対象に、不安定な時期をメンターがサポートする伴走型セミナー	

問 19 （全ての方）

問 18 で示した足立区の起業・創業を支援する事業のうち、活用したことがある、または活用したいものはありますか（○印はいくつでも）。

1 独立・起業セミナー	5 創業者経営力アップ支援事業
2 創業支援施設（かがやき・かけはし）	6 足立区創業資金（開業）
3 起業家交流会	7 ステップアッププログラム
4 創業プランコンテスト	8 いずれも活用していない・活用したいものはない

問 20 （全ての方）

問 18 で示した足立区の起業・創業を支援する事業のうち、「あまり効果的ではない（なさそう）」と感じるものはありますか（○印はいくつでも）。

1 独立・起業セミナー	5 創業者経営力アップ支援事業
2 創業支援施設（かがやき・かけはし）	6 足立区創業資金（開業）
3 起業家交流会	7 ステップアッププログラム
4 創業プランコンテスト	8 いずれも効果的と感じる

問 21 (全ての方)

問 18 で示した足立区の起業・創業の支援について、あなたがお住まいの市区、または
起業をお考えの市区の支援と比較して、どのようにお感じになりますか(○印は1つ)。

1 他の市区に比べて、非常に充実している	3 他の市区に比べて、やや不足している	5 他の市区と差は感じない
2 他の市区に比べて、やや充実している	4 他の市区に比べて、非常に不足している	6 よくわからない

問 23 へ

問 22 (問 21 で「1」「2」と回答した方に)

どんな点で、どのように充実していると感じるか、具体的に記述してください。

問 23 (問 21 で「3」「4」と回答した方に)

どんな点で、どのように不足していると感じるか、具体的に記述してください。